



2022年3月期 決算説明資料

ジオホールディングス(2681)

GEO HOLDINGS CORPORATION

May. 13, 2022

本資料の記載内容

- ・ 2022年3月期 決算サマリー
- 1 グループ概要
- 2 2022年3月期 連結業績
- 3 各事業の取り組み
- 4 2023年3月期 業績予想・配当
- 5 補足資料

2022年3月期 決算サマリー

トピックス

- ・ 2nd STREET(国内) 出店計画60店舗に対し当期累計61店舗を出店
- ・ 2nd STREET(海外) アメリカ1店舗、マレーシア3店舗、台湾6店舗、海外出店当期累計10店舗
- ・ 高級腕時計を中心としたラグジュアリー商材の海外市況好調を受けてリユース海外卸売売上が大幅増

業績ハイライト

- ・ 前期に生じたゲーム関連商材の巣ごもり需要の反動減、映像レンタル市場の縮退が続くも、リユース商材の売上増加により売上高は、前期比1.7%増の3,347億円と3期連続増収
- ・ リユース商材の構成比が高まり、連結売上高の50.3%、売上総利益の56.0%と過半数を超えるまで成長
- ・ リユース系リユース商材売上は、新店効果に加え、下期からはコロナ禍ではあるが外出自粛ムードの緩和もあり、2nd STREETの主力であるリユース衣料服飾商材の売上回復とリユース海外卸売売上の好調により一気に売上を伸ばし、前期782億円から42.7%増の1,116億円と1,000億円の大台突破

グループ概要

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

・社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・会社設立	1989年1月
・本社	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・代表取締役	遠藤 結蔵
・資本金	89億75百万円(2022年3月31日現在)
・株式上場市場	東京証券取引所 プライム市場

1

ゲオグループの主なショップと取扱い商材

		リユース					レンタル		新品			店舗数 (2022年3月 末時点)
		衣料 服飾 雑貨	ラグ ジュア リー商 材	生活 家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	スマホ タブ レット 端末	AV家電 PC	DVD ブルー レイ	漫画コ ミック CD	衣料 服飾 雑貨	AV家電 モバイ ルアク セサ リー	
GEO GEO mobile	 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,111
2nd STREET		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	764 (国内)
OKURA TOKYO (おお蔵)		●	● (時計 バッグ)	●	●	●	●	●	●	●	●	19
Luck Rack		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

2022年3月期 連結業績

コロナ禍からの回復が進み、売上増・利益回復

単位：百万円	21.3月期 実績	22.3月期 実績	前期比	増減
売上高	328,358	334,788	102.0%	6,430
売上総利益	125,223	130,798	104.5%	5,574
(売上総利益率)	38.1%	39.1%		
販管費	120,911	122,624	101.4%	1,712
営業利益	4,311	8,173	189.6%	3,862
(営業利益率)	1.3%	2.4%		
経常利益	4,795	9,662	201.5%	4,867
当期純利益	▲752	5,985	-	6,738

※当第1四半期から収益認識基準の適用により、前期売上高につきまして基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いています。

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

	21.3月期 通期実績	22.3月期 通期実績	前期比	増減額
リユース	133,689	168,419	126.0%	34,730
リユース系	78,232	111,648	142.7%	33,416
メディア系	55,457	56,771	102.4%	1,313
新品	107,708	104,707	97.2%	▲3,001
レンタル	51,544	42,984	83.4%	▲8,559
その他	35,416	18,677	52.7%	▲16,738
合計	328,358	334,788	102.0%	6,430

単位：百万円

2nd STREETの新店効果と衣料品の販売回復並びにお蔵の海外卸売市況好調により増収

ゲーム関連商材における巣ごもり特需の終息により減収

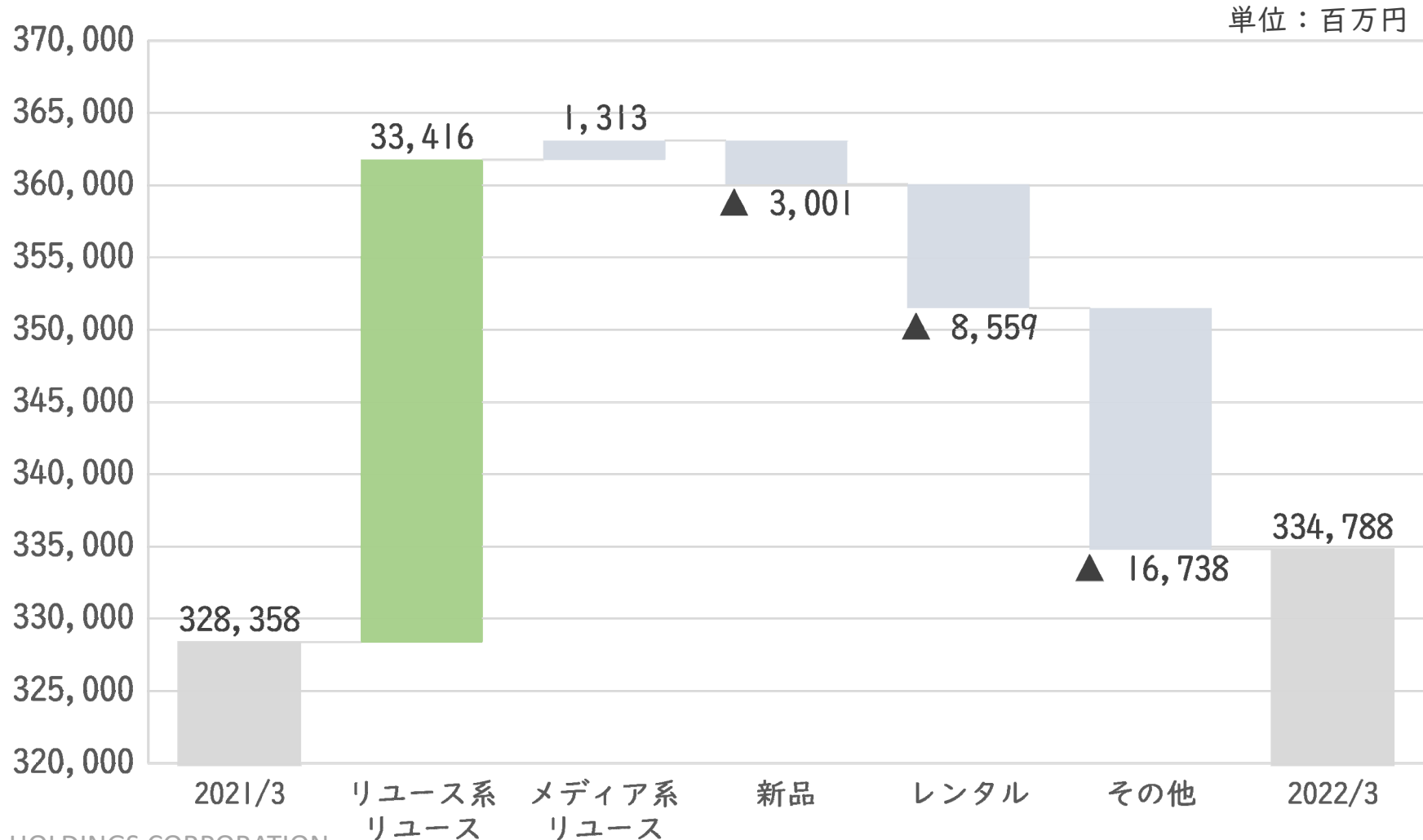
DVD等映像レンタル市場規模縮小継続

※前期まで「その他」区分としていましたGEO・2nd STREET(国内)以外の取扱商材について、今期より各商材の属性に基づき、リユース系リユース・メディア系リユース・新品の集計区分に変更しています。

2

2022年3月期 売上高前期比増減

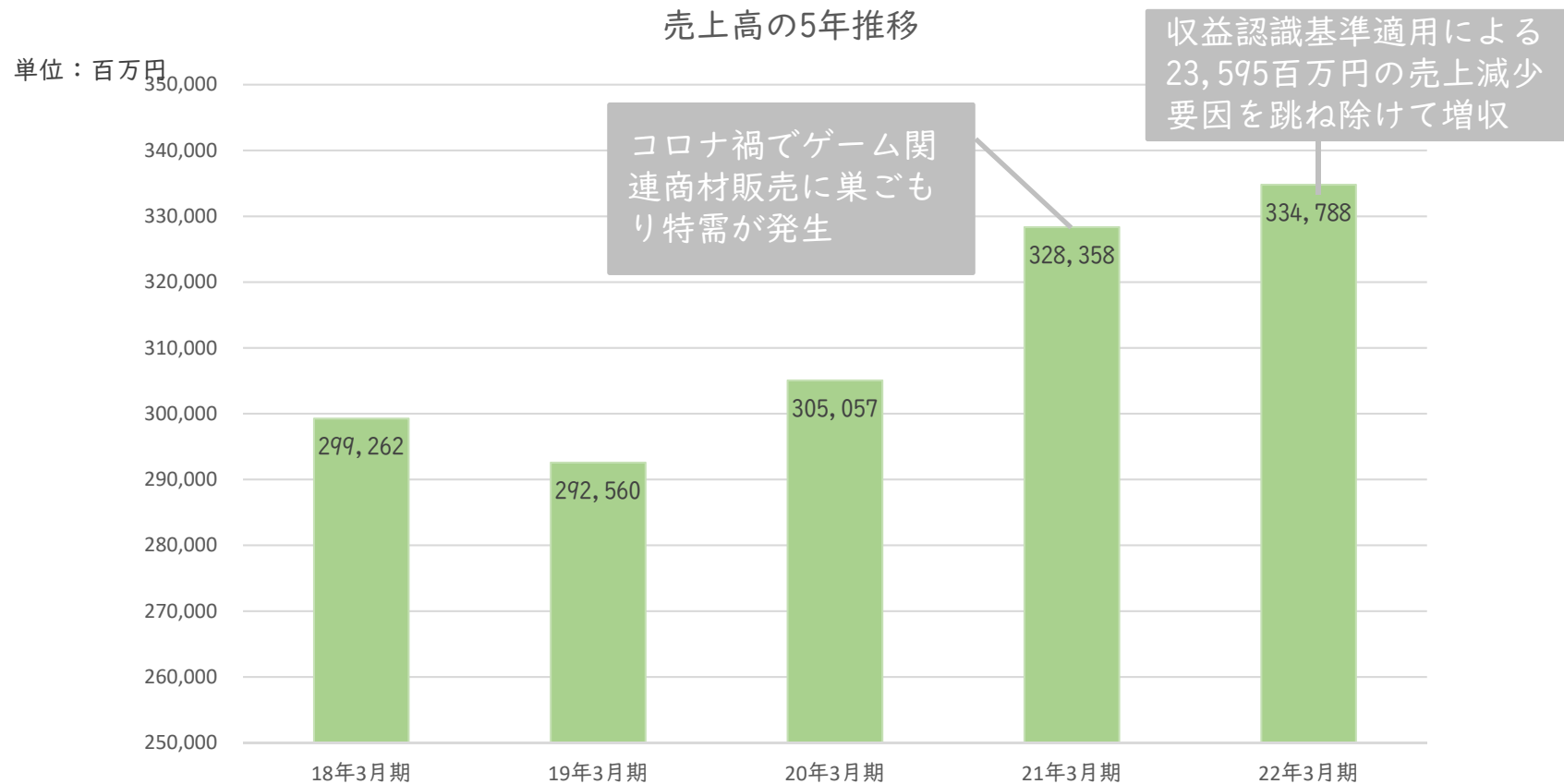
レンタル売上の減少は継続するも、リユース系リユース商材の売上増加により売上高は前期比2.0%増加。



2

売上高推移(5年)

売上高につきましては、当期からの収益認識基準適用による影響がありました。また、コロナ禍の中でも継続しました2nd STREETの出店とリユース系リユース商材の売上伸長により3期連続増収達成。



単位：百万円	21.3月期 通期実績	22.3月期 通期実績	前期比	増減額
リユース	62,505	73,204	117.1%	10,698
リユース系	40,218	51,196	127.3%	10,977
メディア系	22,286	22,007	98.7%	▲278
新品	16,303	16,528	101.4%	224
レンタル	33,367	27,505	82.4%	▲5,861
その他	13,046	13,560	103.9%	513
合計	125,223	130,798	104.5%	5,574

リユース系の中でも売上総利益率の相対的に低い高単価商材販売増加及び高級時計を中心とした海外卸売りの増加により売上総利益率は低下

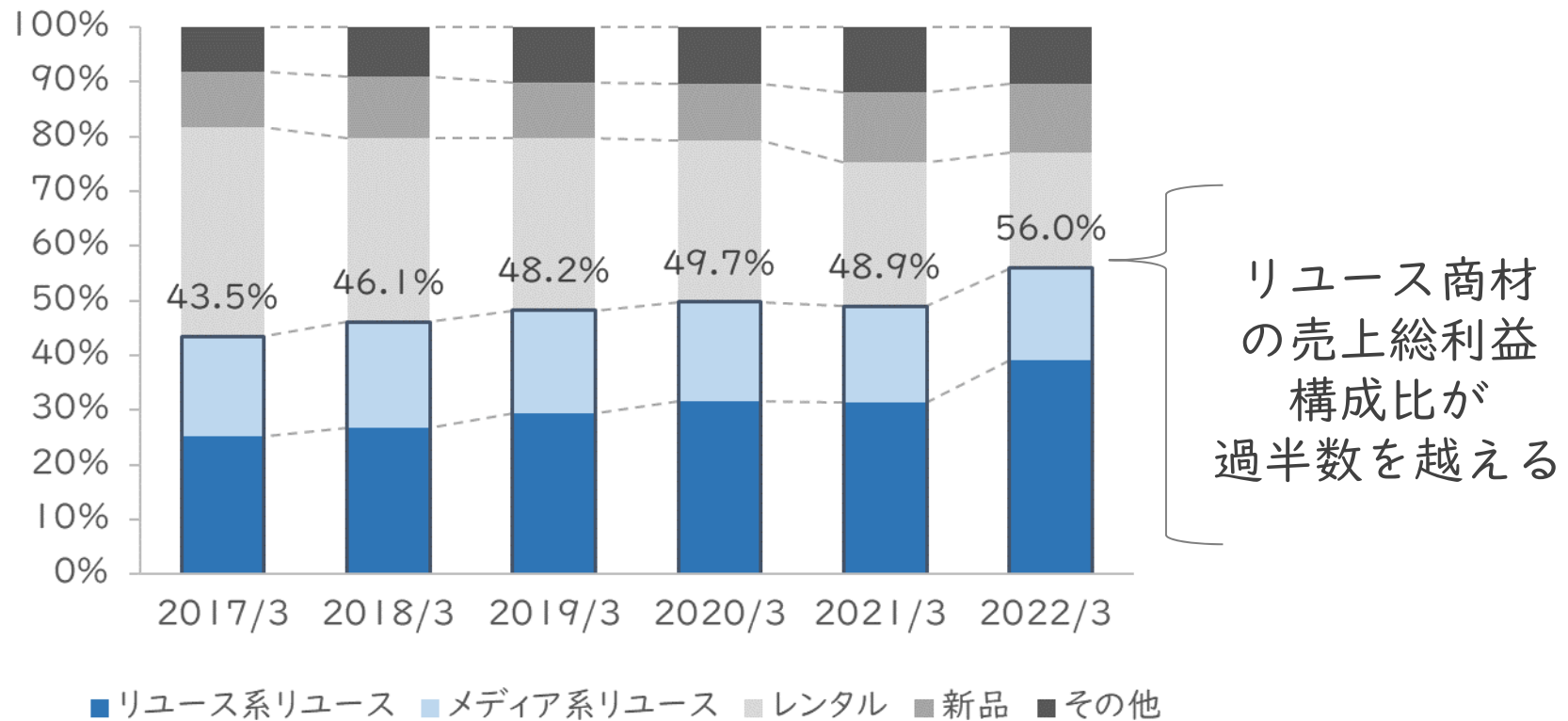
デジタルコンテンツ商材販売が収益認識基準の適用により減少するものの、取引量の増加により売上総利益は増加

※前期まで「その他」区分としていましたGEO・2nd STREET(国内)以外の取扱商材について、今期より各商材の属性に基づき、リユース系リユース・メディア系リユース・新品の集計区分に変更しています。

2

当社グループの売上総利益（構成比）の推移

祖業でありました映画のパッケージソフトのレンタルは、インターネット配信サービスの普及、余暇時間の消費多様化により市場縮小が継続しております。レンタルの比率を下げ、2nd STREETを中心とするリユース店舗の出店等により、リユース系リユース商材による売上総利益の構成比を高めることを戦略的に進めており、売上総利益(粗利)の構成比は当期56.0%となり、過半数を上回りました。



2

2022年3月期 販売管理費

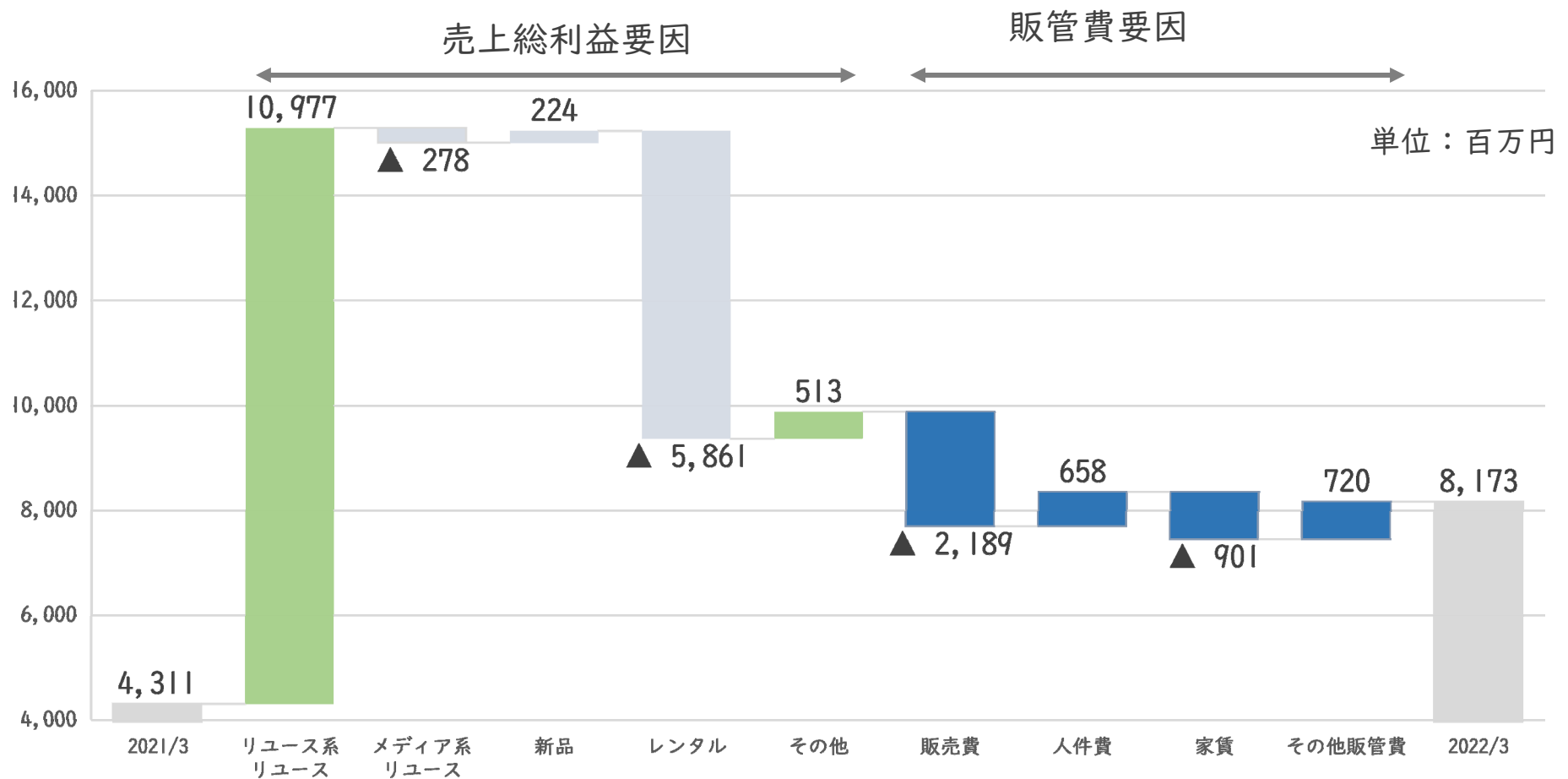
新規出店による地代家賃や広告宣伝費の増加がありました。人件費を中心としたコスト抑制により販管費合計では前期比1.4%増。

	21.3月期		22.3月期		増減	(前期比)
単位：百万円	通期実績	(売上比)	通期実績	(売上比)		
販売費計	14,641	4.5%	16,831	5.0%	2,189	115.0%
広告宣伝費	6,016	1.8%	7,681	2.3%	1,664	127.7%
販売促進費	642	0.2%	400	0.1%	▲242	62.3%
販売手数料	4,113	1.3%	4,963	1.5%	850	120.7%
人件費計	58,316	17.8%	57,658	17.2%	▲658	98.9%
その他諸経費計	47,953	14.6%	48,134	14.4%	181	100.4%
水道光熱費	3,608	1.1%	3,915	1.2%	307	108.5%
地代家賃	24,213	7.4%	25,114	7.5%	901	103.7%
減価償却費	4,614	1.4%	4,266	1.3%	▲347	92.5%
備品消耗品費	2,659	0.8%	1,933	0.6%	▲726	72.7%
修繕費	655	0.2%	621	0.2%	▲33	94.8%
販管費計	120,911	36.8%	122,624	36.6%	1,712	101.4%

2

2022年3月期 営業利益前期比増減

リユース系リユース商材の売上総利益増加により、レンタルでの売上総利益の減少を吸収し、営業利益は前年同期比89.6%増と回復。



2

2022年3月期 連結貸借対照表

	2021年 3月31日	構成比	2022年 3月31日	構成比	増減額
流動資産	113,687	67.0%	117,970	67.7%	4,283
現金及び預金	51,865		45,604		▲6,261
商品	42,218		51,438		9,220
固定資産	56,050	33.0%	56,405	32.3%	355
有形固定資産	28,177		27,121		▲1,056
無形固定資産	2,349		2,821		472
投資その他資産	25,524		26,461		937
資産合計	169,738	-	174,375	-	4,637
流動負債	41,038	24.2%	36,057	20.7%	▲4,981
買掛金	15,108		14,123		▲985
1年以内返済予定の長期借入金	5,012		5,893		881
固定負債	55,717	32.8%	61,124	35.1%	5,407
長期借入金	45,943		52,050		6,107
負債合計	96,755	57.0%	97,181	55.7%	426
純資産合計	72,982	43.0%	77,193	44.3%	4,211
負債純資産合計	169,738	-	174,375	-	4,637

単位：百万円

主に衣料・ラグジュアリー商材などのリユース系リユース商材の好調な買取により増加

前期末は大型ゲームソフトの発売に伴い買掛金が増加

取引金融機関より120億円を調達

2022年3月期 連結キャッシュフロー計算書

		2021年	2022年	増減額
		3月31日	3月31日	
単位：百万円				
	税金等調整前当期純利益	2,144	8,101	5,957
	うち棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲3,986	▲8,990	▲5,004
	うち仕入債務の増減額(▲は減少)	4,069	▲1,276	▲5,345
	うち未払消費税等の増減額(▲は減少)	3,735	▲5,028	▲8,763
	営業C F 小計	14,909	▲88	▲14,997
	法人税等の支払額	▲1,859	▲5,469	▲3,610
営業C F		12,428	▲5,731	▲18,159
	うち有形固定資産の取得による支出	▲5,783	▲5,002	781
投資C F		▲8,225	▲6,694	1,531
	うち短期借入金の純増減額(▲は減少)	▲5,000	-	5,000
	うち長期借入による収入	25,000	12,000	▲13,000
	うち長期借入金の返済による支出	▲3,737	▲5,012	▲1,275
	うち配当金の支払額	▲1,443	▲1,227	216
財務C F		14,683	5,595	▲9,088
	現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	18,909	▲6,725	▲25,634
	現金及び現金同等物の期末残高	54,576	47,851	▲6,725

リユース系リユースの買取が好調に推移したことによる棚卸資産の取得の増加

前期末はゲームソフトの大型タイトル発売があり、前期末の買掛金が増加

前期は子会社の会社分割に伴い当該子会社の納税の発生が少なく、当期は当該子会社の実績に基づき納税が発生

各事業の取り組み

ネットワークリテイラーへの挑戦

(あらゆるモノの循環インフラとなること)







お客様の消費行動をより理解して、オンラインとオフライン(店舗)の両方で、商品・サービスを自在に選択して利用いただける体制をグループで構築します。



3

ゲオグループ店舗数の状況

・ 2022年3月期末総店舗数 1,958店

	GEO ※1 	2nd STREET ※2 	2nd STREET (海外) 	OKURA TOKYO (おお蔵) 	Luck Rack 	ウェア ハウス 	その他	合計
直営店	972	710	26	19	19	10	9	1,765
（期中出店）	6	61	10	5	13	0	0	95
（期中閉店）	▲ 54	▲ 25	0	▲ 1	▲ 4	▲ 1	▲ 2	▲ 87
FC・代理店	139	54	—	—	—	—	—	193
合計	1,111	764	26	19	19	10	9	1,958

※1:GEO mobile単独店を含む

※2:Super 2nd STREET・ジャンブルストア・2nd OUTDOOR・買取専門店等を含む

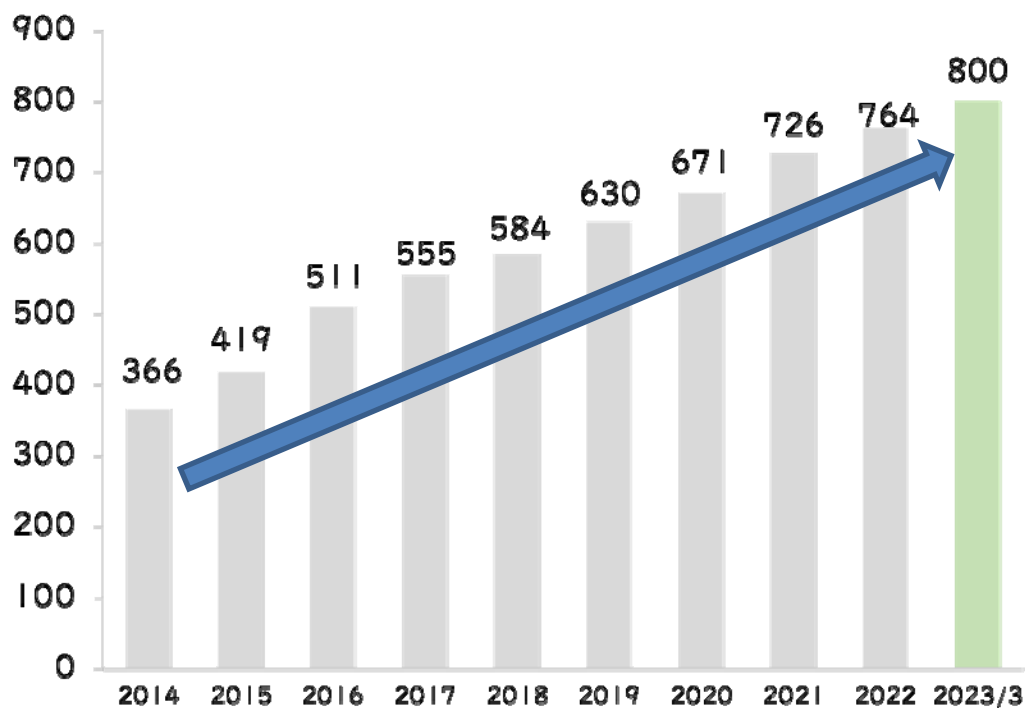


3

リユース市場の深耕

2nd STREETの出店継続

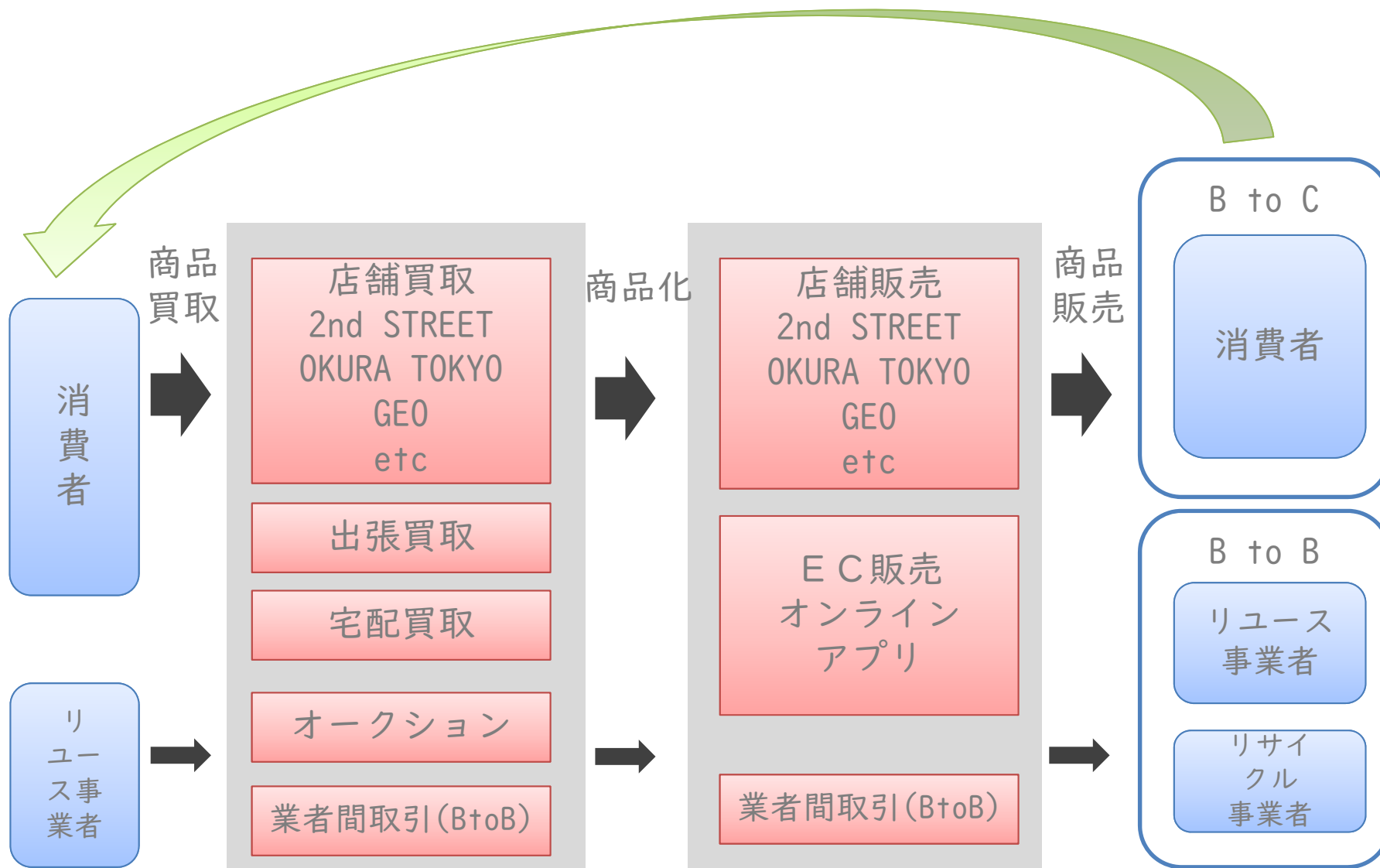
リユースに対する認知向上により、リユース市場の成長は続いており、リユース市場において圧倒的No.1企業となるために、2023年3月期末までに2nd STREETの800店舗体制を目指しています。新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、積極的な出店を継続することにより顧客とのアクセスポイントを増やし、リユース市場の深耕を推進しています。



スーパーセカンドストリート大宮日進店（埼玉県さいたま市）

3

リユース事業系統図



3

リユース(2nd STREET)事業の特徴と強み



全国700以上の店舗数と選べる3つの買取方法

直接店舗へお持ち込みいただく「店舗買取」、大型家具・家電をご自宅で査定する「出張買取」、段ボールに詰めて送るだけの「Web(宅配)買取」の3つを用意し、顧客のニーズにこたえ、リユース業の根幹である仕入に注力しています。

幅広い取扱いと買取実績

洋服、家具、家電、ホビー、アウトドア用品など幅広く取り扱い、買取実績は直接年間7,000万点以上。豊富な実績データを活用して、買取精度を高めています。



バイヤー育成

買取業務を担うバイヤーの育成と買取能力の更なるレベルアップを目的とする社内検定「バイヤー認定制度」を設けています。同制度では、衣料・服飾部門、総合部門の2部門で試験結果に応じて、4段階の認定を行い、その他社内コンテストの継続的開催により大量出店と日々増加する買取商品査定を支える体制を構築しています。

3

2nd STREET（国内）

当第4四半期の国内2nd STREETでは、15店舗の出店を行い、当期累計の出店数は61店舗となり、当期計画値の60店舗出店を超過達成いたしました。依然新型コロナウイルスの影響について不透明な部分もございますが、2023年3月期末国内2nd STREET800店舗体制の計画達成に向けて出店を継続してまいります。

循環型社会形成が志向される中で成長を続けるリユース市場で、仕入と販売の拠点として店舗整備を進めることにより顧客接点を広げていきます。またテレビCM、WEB広告等を効果的に行い、各種キャンペーン施策も含めたりユースの認知向上を図ることにより、2nd STREETは成長を継続させております。

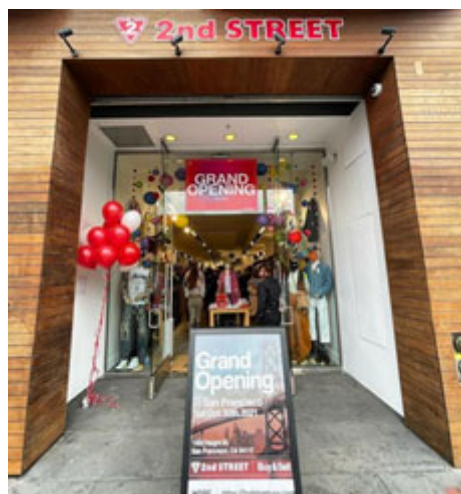


3

2nd STREET (海外)

2nd STREETにおける海外展開として、2018年1月のアメリカでの出店を皮切りに海外展開を開始しております。2022年3月期は、アメリカ1店舗、台湾6店舗、マレーシア3店舗の合計10店舗の新規出店をいたしました。

海外でもリユース市場は拡大するものと見込まれており、今後も衣料服飾を主力商材とする2nd STREET業態にて出店を継続いたします。またマレーシアにおきましては、小売店舗の展開の他に古着の海外卸売の拠点としての役割を担っております。



セカンドストリートHaight St店
(アメリカ カリフォルニア州)



セカンドストリート汐止遠雄店(台湾 新北市)



セカンドストリートUSJ TAIPAN店(マレーシア Selangor)

リユースラグジュアリー商材の強化



「OKURA TOKYO」(おお蔵)は、高級時計・ブランドバッグなどのラグジュアリーブランドのリユースを、買取専門店も含めて19店舗で展開しており、店舗販売以外にも海外への卸売やオークション市場も運営しています。

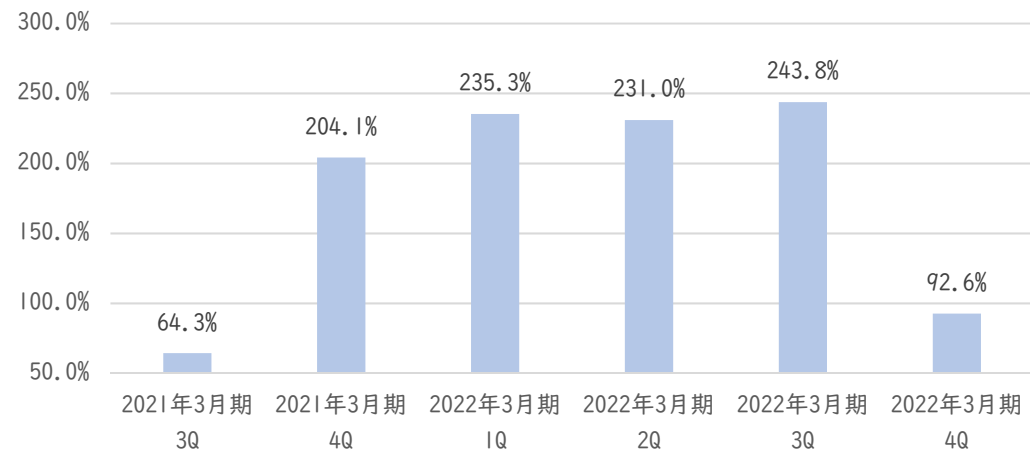
2022年3月期においては、国内店舗でのインバウンド需要の回復はありませんでしたが、高級時計を中心に海外でのブランド品リユース需要が好調に推移し、海外卸売の売上がリユース系リユース商材売上の増加に大きく寄与しました。

当社グループは、2020年3月期に買収により取得いたしましたおお蔵を軸として国内リユース市場におけるラグジュアリー商材でもNo.1を目指していきます。



OKURA TOKYO銀座本店（東京都中央区）

海外卸売売上の前年四半期比推移



3

メディア(GEO)事業の特徴と強み

GEOは、直営店舗を中心として全国1100店舗以上を展開し、直営店舗中心であることのメリットを活かして本部による在庫の一元管理を行うことで、GEO全体の買取・販売バランス、在庫配分を最適化しています。また、高シェアのレンタルに加えて、ゲーム商材の新品とリユースを同一店舗で取り扱う独自の店舗スタイルや、徹底したローコストオペレーションにより、高い収益力を維持しています。

■全国に広がる

GEO	1,111店舗
(直営店)	972店舗
(FC店・代理店)	139店舗

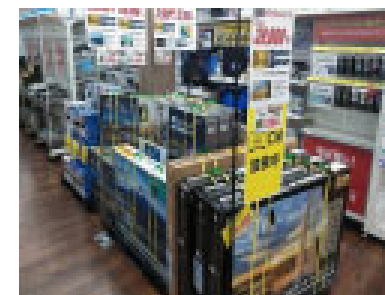
(2022年3月31日時点)



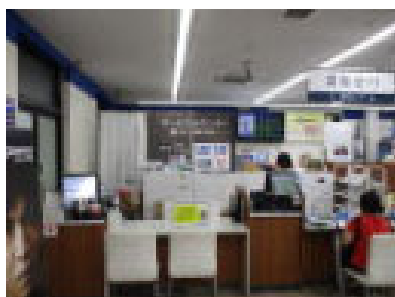
セルフレジ

3

GEO店舗での商材追加・売場リニューアル



省スペース型のレンタルパッケージの検証試験、大型テレビ等のリテール家電・スマホとその関連アクセサリ売場の拡張に加え、菓子・食品の導入等、レンタル市場の縮小に対応する商材追加・売場リニューアルに取り組んでおります。



ながら専用

耳をふさがない
骨伝導ワイヤレスイヤホン
税抜 **2,980円** (税込3,278円)

累計販売数100,000個以上

3

ITの積極活用とオンラインの強化

ECサイト(2nd STREET online・GEO online)、公式アプリ等からのEC販売だけでなく、2nd STREET店舗への「取り寄せサービス」利用を含む電子商取引に関与した物販売上高は、前期比119.6%と伸長しています。

特に新型コロナウイルス環境下で前期から推進しました2nd STREETの各店舗における店舗とECの併売促進の結果、巣ごもり消費の波に乗り、2nd STREET自社サイト(アプリ経由含む)の売上高・販売数の前期比は、それぞれ165.8%・150.4%と大きく伸長しました。

公式アプリ・自社ECサイトの継続的な改良、認知向上活動並びに物流整備により、お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤の整備に努めていきます。

	21.3月期 通期実績	22.3月期 通期実績	前期比
EC関与売上高(百万円)	17,087	20,444	119.6%
EC関与販売数(千個)	3,831	3,899	101.8%



OPS（オフプライスストア）業態とはメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品の全てをいつでもセール価格で提供するフォーマットです。アパレルの余剰在庫問題に関心が寄せられる中、資源の有効活用につながる注目の業態です。当社グループでは、OPS業態のトップランナーとして店舗モデルの確立と運営の標準化を進めながらチェーン展開を進めています。

今期は、東京23区内に初出店として「東急プラザ表参道原宿店」を出店し認知を高めるとともに、期間限定のPOP UP出店を含め13店舗の出店と4店舗の退店を行いました。



ラックラック東急プラザ表参道原宿店（東京都渋谷区）



ラック・ラック イオンモール川口前川店（埼玉県川口市）

デジタルコンテンツ事業

当社グループは、実店舗における販売・サービスの提供が主な事業領域であります。デジタル化が進むビジネス環境を見据えて、子会社において、デジタルコンテンツ事業を展開しています。

同人誌・音声・コミック・ゲームなどのコンテンツを制作するクリエイターが、デジタル基盤を介して、ファンに向けて販売できる二次元コンテンツダウンロードサイト「DLsite」の運営のほか、ゲーム・ボイス・ASMRコンテンツの制作販売、電子コミック制作および各種コミックサイトへの電子コミック提供を行っております。



事業成長によるSDGsへの貢献

“モノ”を不要な場所から必要な場所へ。
 当社は様々な循環型事業を通して、廃棄物の発生を削減し、
 SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に貢献します。

12 つくる責任
つかう責任





エネルギー効率化によるSDGsへの貢献

約1600店舗にLED照明設置を完了。当社の店舗の9割超で、LEDによるCO2削減を進めています。各店舗のレジにタブレット端末を導入し、買取伝票などのペーパーレス化に取り組んでいます。エネルギーの効率化と業務効率化につなげます。

多様な働き方に合わせた環境の構築



■女性従業員の活躍

女性が出産、育児などのライフイベントとキャリア形成を両立でき、一人ひとりが柔軟な働き方を選択できるような仕組みを整えています。2021年の産前産後休業および育児休業取得率は100%です。

■LGBTQ

ダイバーシティ推進活動の一環として、LGBTQへの取り組みを積極的に行っています。「work with Pride」によるLGBTQに関する企業の取り組みを評価する制度であるPRIDE指標ゴールドを4年連続で受賞しました。

work with Pride



■障がい者雇用

ゲオグループの障がい者雇用率は3.38%（2022年3月現在）と、法定雇用率(2.3%)を超えています。2010年から障がい者の雇用促進を目的にした子会社「ゲオビジネスサポート」を設立し、取扱商材の加工などの受託業務、店舗及び各グループ事務所の清掃業務、就労移行支援事業所運営などを行っています。

2023年3月期 業績予想・配当

4

2023年3月期 業績予想について

2023年3月期の見通しにつきまして想定する事業環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が徐々に弱まることを想定しており、上期においては一定程度が継続することを想定しております。

商材別ではリユース市場の拡大は継続するものの、映像レンタル市場の縮小は継続することを想定しております。また、資源価格の高騰からの物価上昇、人件費、水道光熱費等のコストアップ要因の影響も懸念されるものであります。

単位：百万円	23.3月期 通期見通し	増減率	22.3月期 通期実績
売上高	350,000	4.5%	334,788
営業利益	7,000	▲14.4%	8,173
経常利益	7,600	▲21.3%	9,662
当期純利益	3,800	▲36.5%	5,985

4

2023年3月期出店計画

		出店計画	
		店舗数	概要
2nd STREET(国内)		60店舗	総合リユース店中心として出店し、2023年3月期 800店舗達成予定。
2nd STREET(海外)		26店舗	海外店舗網を拡張します。 (北米14店、マレーシア3店、台湾9店)
OKURA TOKYO (おお蔵)		4店舗	繁華街立地に加え、買取専門店も出店予定。
GEO		20店舗	移転・統合による出店を中心に既存店リニューアルにより、レンタル売場を圧縮し、モバイル店舗を併設、ゲーム周辺機器、デジタル家電、モバイルアクセサリー等の商材追加を進めます。
Luck Rack		10店舗	郊外ロードサイドに加えて、駅前立地の商業ビルへの出店も計画します。

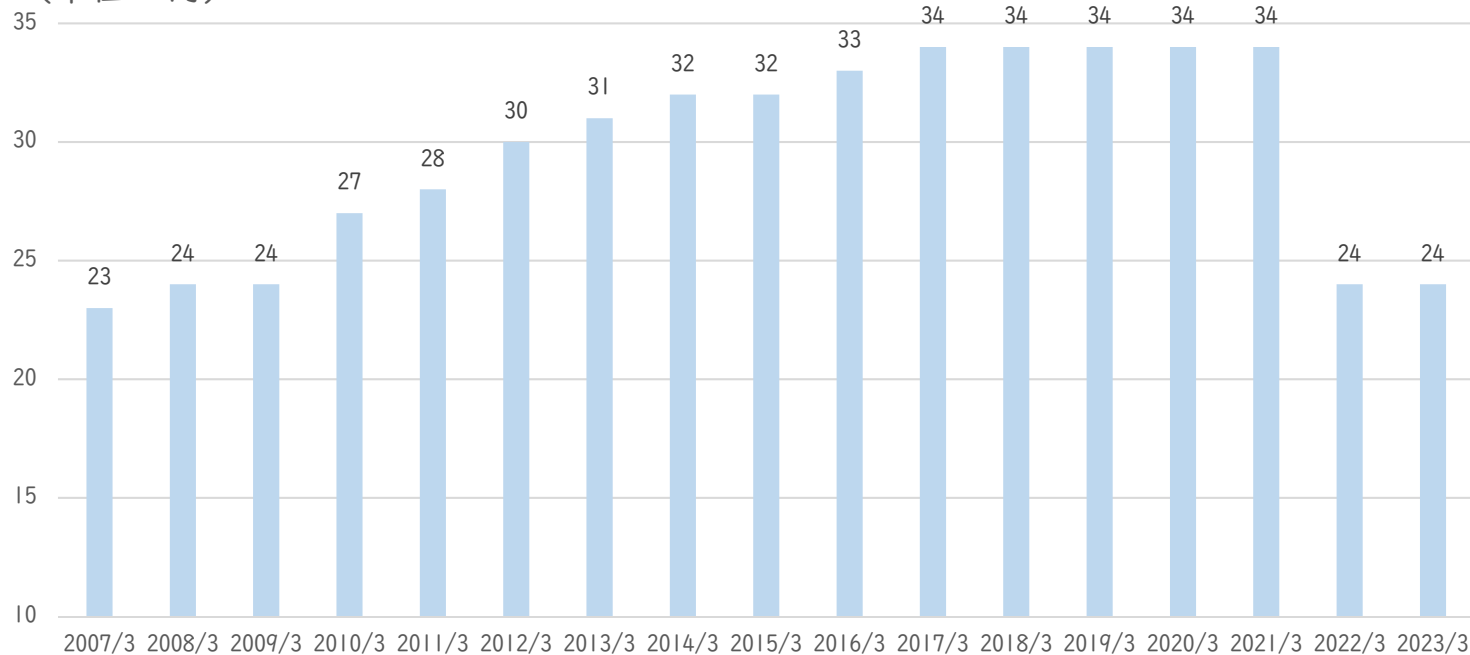
4

配当

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。利益水準の低下を鑑みて2022年3月期に年間24円に減配させていただきました。2023年3月期につきましては、利益水準の回復途上の段階であると認識しており、年間配当24円での配当額維持を予定しております。

分割調整後の1株当たり配当額推移

(単位：円)



中間配当
12円(予定)
+
期末配当
12円(予定)
年間配当予定額
24円(予定)

補足資料

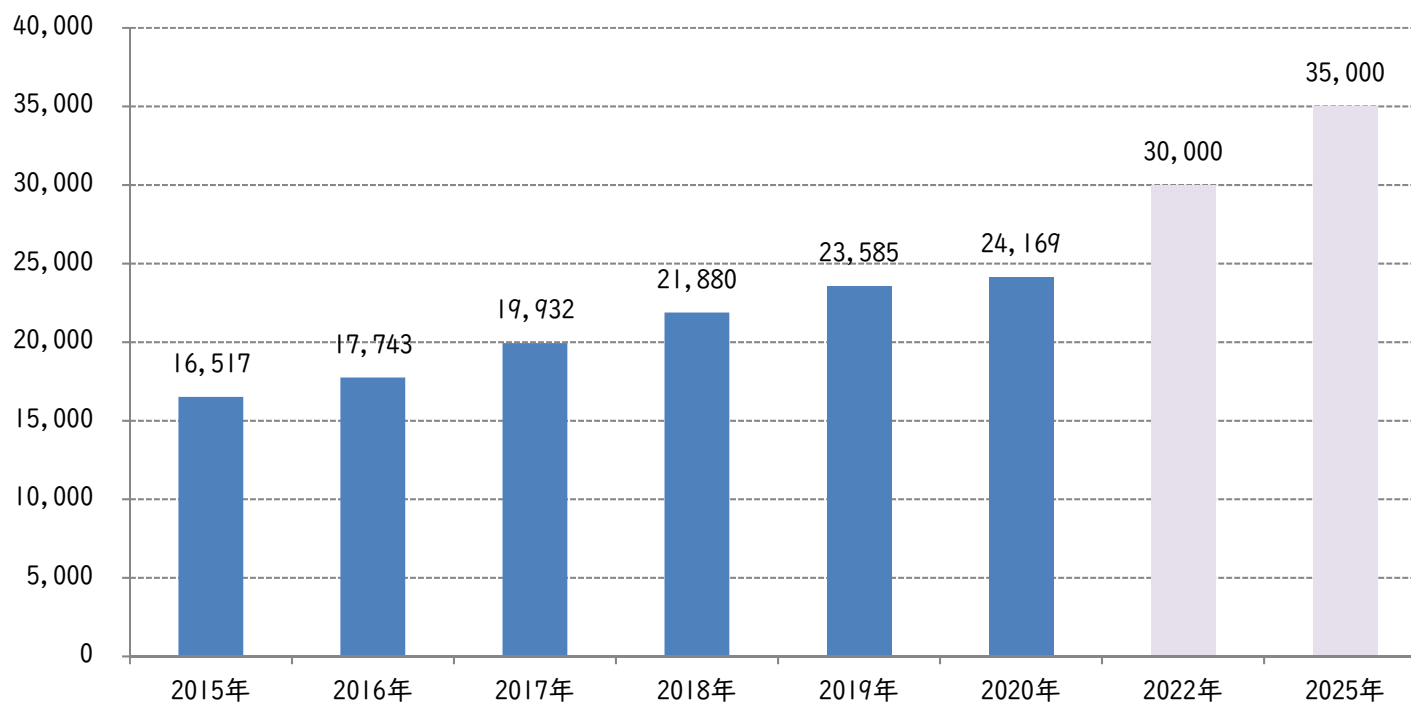
5

2022年3月期 連結損益計算書(会計期間)

単位：百万円	21.3月期				22.3月期			
	1 Q 実績	2 Q 実績	3 Q 実績	4 Q 実績	1 Q 実績	2 Q 実績	3 Q 実績	4 Q 実績
売上高	82,860	75,718	84,817	84,961	76,088	75,860	93,042	89,797
(前期比)	129.6%	102.1%	101.0%	102.3%	91.8%	100.2%	109.7%	105.7%
売上総利益	33,230	30,286	31,428	30,278	31,011	31,167	34,974	33,645
(前期比)	111.8%	100.2%	98.7%	94.6%	93.3%	102.9%	111.3%	111.1%
(売上総利益率)	40.1%	40.0%	37.1%	35.6%	40.8%	41.1%	37.6%	37.5%
販管費	29,673	30,219	30,594	30,424	29,855	30,840	30,795	31,132
(前期比)	109.4%	106.9%	104.3%	104.6%	100.6%	102.1%	100.7%	102.3%
営業利益	3,557	66	834	▲145	1,155	326	4,178	2,513
(前期比)	136.7%	3.4%	33.1%	—	32.5%	490.6%	500.9%	—

5

市場動向(リユース)



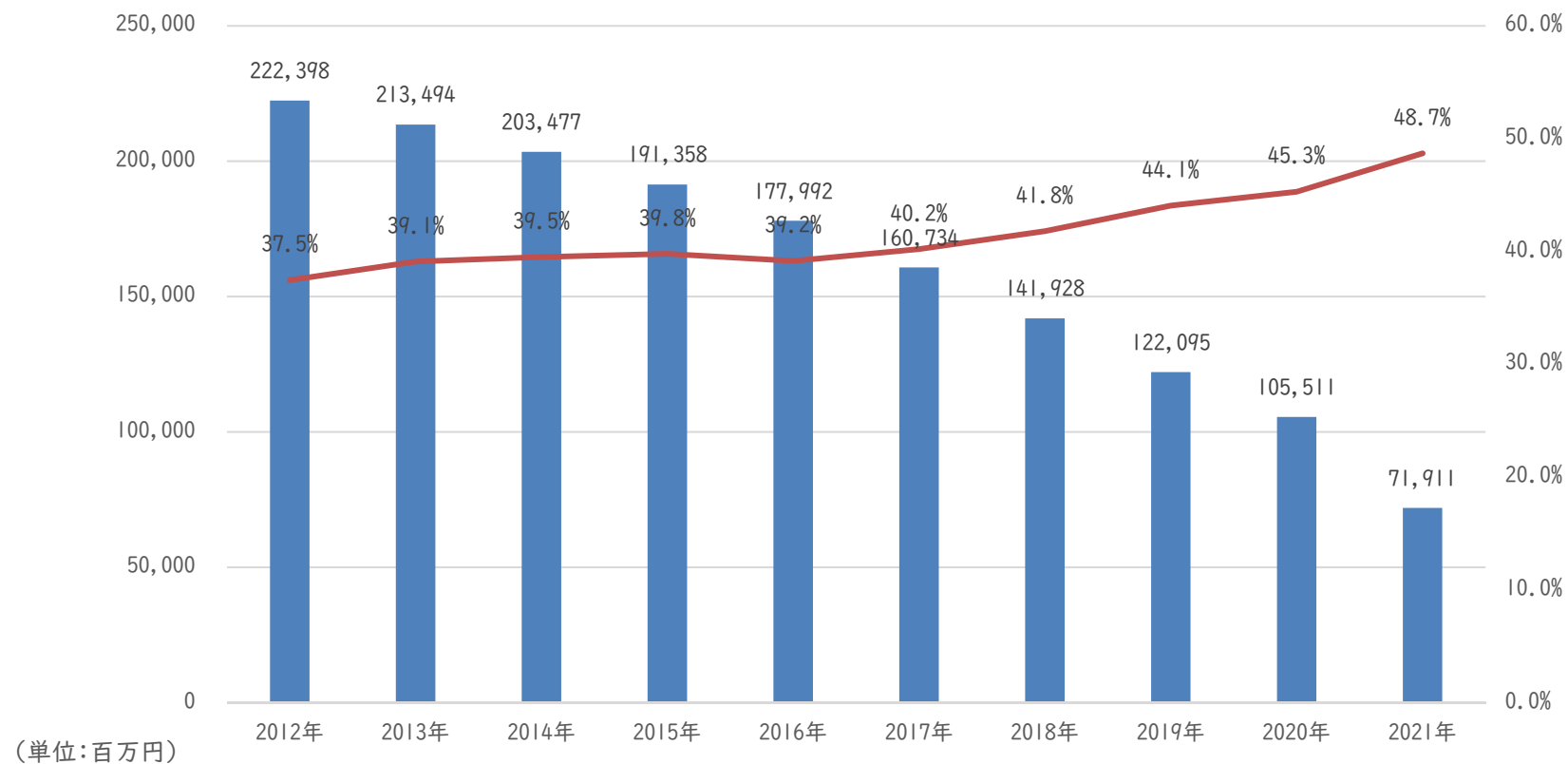
(単位:億円)

(出典:リサイクル通信「中古市場データブック2021」)

5

市場動向（レンタル）

国内音楽・映像レンタル市場とシェアの推移



(出典:経済産業省 特定サービス産業動態統計調査)

*特定サービス産業動向調査をもとに当社推計

*宅配レンタル・コミックレンタルは含まれておりません。

5

セカンドストロートの既存店売上推移

セカンドストリート既存店の月次売上同月比推移



将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経理財務部

T E L : 052-350-5711

Email : info@geonet.co.jp